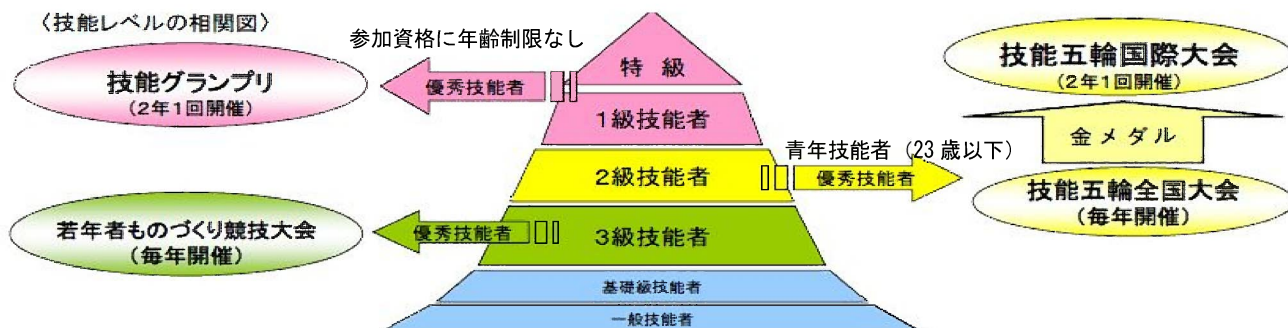


匠の技 日本一を競う技能グランプリが九州で初めて本市で開催されます！

技能グランプリは年齢に関係なく、熟練技能者が技能の日本一を競うことにより、熟練技能者の技能の一層の向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重機運の醸成に資することを目的とした技能競技の全国大会であり、隔年で開催されています。

出場選手は当該職種において、特級、1級、単一等級いずれかの技能検定（国家検定）に合格した技能士に限られ、大会の優勝者には厚生労働大臣賞などが授与されます。

第32回大会（令和6年2月）は、九州で初めて本市（メイン会場：西日本総合展示場（北九州市小倉北区））で開催され、熟練技能者による熱い戦いが繰り広げられる予定です。



大会概要（予定）

(1) 日程 令和6年2月23日（金）～26日（月）の4日間

| 日付 | 内容 | 会場 |
|----------|----------|-----------------|
| 2月23日（金） | 開会式・会場下見 | 開会式はオンライン開催 |
| 2月24日（土） | 競技実施 | 西日本総合展示場（本館・新館） |
| 2月25日（日） | | 他 県外3会場 |
| 2月26日（月） | 閉会式、成績発表 | 北九州芸術劇場（大ホール） |

(2) 主催 厚生労働省、中央職業能力開発協会、(一社) 全国技能士会連合会
後援 経済産業省、国土交通省、福岡県、北九州市 ほか関係団体

(3) 実施競技種目 28 職種

一般部門(7) 一般製造部門(8) 建設部門(9) 繊維部門(4)

※旋盤、フライス盤、日本料理は、福岡県外の3会場で実施される予定。

(4) 直近の開催状況

| 開催年度(開催回) | 開催地 | 来場者数 (人) | 参加選手数 (人) | 職種数 |
|-------------|-----|-------------|--------------|-----|
| H24年度(第27回) | 千葉県 | 約14,300 | 482 | 30 |
| H26年度(第28回) | 千葉県 | 約14,500 | 444 | 28 |
| H28年度(第29回) | 静岡県 | 13,363 | 514 | 30 |
| H30年度(第30回) | 兵庫県 | 29,209 | 533 | 30 |
| R2年度(第31回) | 愛知県 | 無観客 | 344 | 28 |

※ 過去の開催地：千葉県(26回)、兵庫県(2回)、島根県(1回)、静岡県(1回)、
愛知県(1回)の5県のみ

【問い合わせ先】

産業経済局 雇用政策課

電話：093-582-2419

担当：正野(課長)、馬場(係長)

技能グランプリの概要

(別紙1)

概要

- 技能グランプリは、技能士の技能の一層の向上を図るとともに、その熟練した技能を広く国民に披露することにより、その地位の向上と技能の振興を図ることを目的として、厚生労働省、委託事業受託者及び一般社団法人全国技能士会連合会が開催する技能競技大会であり、都道府県職業能力開発協会等から推薦された特に優れた技能を有する一級技能士等（単一等級含む）が参加する（年齢制限なし）。
- 1981（昭和56）年度から毎年開催され、2002（平成14）年度からは隔年で開催されている。
- 2020（令和2）年度は、第31回大会を2021年2月19日から2月22日の日程で愛知県において開催。次回は2023（令和5）年度に福岡県北九州市で開催予定。

第31回大会の概要

■ 日 程：2021（令和3）年2月19日（金）～22日（月）

- ・ 開会式：2月19日（金）
- ・ 競技：2月20日（土）～21日（日） ※一部の職種の競技は、この日程に先行して実施
- ・ 閉会式：2月22日（月）

※ 競技は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため無観客で開催するとともに開閉会式はWeb配信を実施。

■ 競技会場：愛知県国際展示場（愛知県常滑市）など計4会場

■ 参加者数：選手344名

※写真は第31回大会のもの



競技職種（28職種）

| | |
|-------------|--|
| 一般部門（7職種） | 貴金属装身具、園芸装飾、ペイント仕上げ広告美術、粘着シート仕上げ広告美術、フラワー装飾、日本料理、レストランサービス |
| 一般製造部門（8職種） | 機械組立て、家具、建具、ガラス施工、印章木口彫刻、表具、旋盤、フライス盤 |
| 建設部門（9職種） | 石工、建築大工、かわらぶき、畳製作、建築配管、プラスチック系床仕上げ、カーペット系床仕上げ、壁装、造園 |
| 繊維部門（4職種） | 染色補正、婦人服製作、和裁、寝具 |

※旋盤、フライス盤、日本料理は、福岡県外会場で実施される見込み。紳士服製作、タイル張りについては、競技実施に必要な参加選手数を満たさないため中止。

各種技能競技大会の概要

(別紙2)

○若者の就業意欲の喚起や円滑な技能継承に資するため、技能五輪全国大会をはじめとする各種技能競技大会を推進

| 項目 | 若年者ものづくり競技大会 | 技能五輪全国大会 | 技能グランプリ |
|----------------|---|---|--|
| 目的 | 技能を習得中の若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより、若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図る。 | 青年技能者がその技能レベルの日本一を競うことにより、国内の青年技能者の水準向上を図り、併せて技能尊重気運の醸成を図る（技能五輪国際大会の前年度大会は翌年度の国際大会の予選を兼ねる）。 | 技能士の技能の一層の向上を図るとともに、その熟練した技能を広く国民に披露することにより、その地位の向上と技能尊重気運の醸成を図る。 |
| 出場資格 | 職業能力開発施設、認定職業訓練施設、工業高校、工業高等専門学校等において技能を習得中の原則20歳以下の者で、企業等に就職していない者 | 技能検定2級相当以上の技能を有する原則23歳以下の青年技能者 | 特級、1級及び単一等級の技能検定に合格した技能士 |
| 競技レベル | 初級レベル（技能検定3級程度） | 上級から中級レベル（技能検定2級相当以上） | 上級レベル |
| 競技職種 参加者数 | 旋盤、電子機器組立て、建築大工等の工業高校等の学校等において技能習得中の者が多い職種 平成29年度：15職種 443名 平成30年度：15職種 445名 令和元年度：15職種 443名 令和2年度：（コロナ禍により中止） 令和3年度：15職種 330名 | 技能五輪国際大会で実施されている職種、国内の青年技能者の技能水準の向上と技能尊重気運の醸成に資するものと認められる職種 平成29年度：42職種 1,337名 平成30年度：42職種 1,292名 令和元年度：42職種 1,239名 令和2年度：40職種 944名（コロナ禍により無観客開催） 令和3年度：42職種 1,028名 （コロナ禍により来場を選手・関係者に制限して開催） | 建築大工、和裁等の職種 平成26年度：28職種 444名 平成28年度：30職種 514名 平成30年度：30職種 533名 令和2年度：28職種 344名 （コロナ禍により無観客開催） |
| 直近の開催 （予定）地 | 広島県（令和4年度） 静岡県（令和5年度） | 千葉県（令和4年度） 愛知県（令和5年度） | 愛知県（令和2年度）※無観客開催 福岡県（令和5年度） |

【技能レベルの相関図】

